

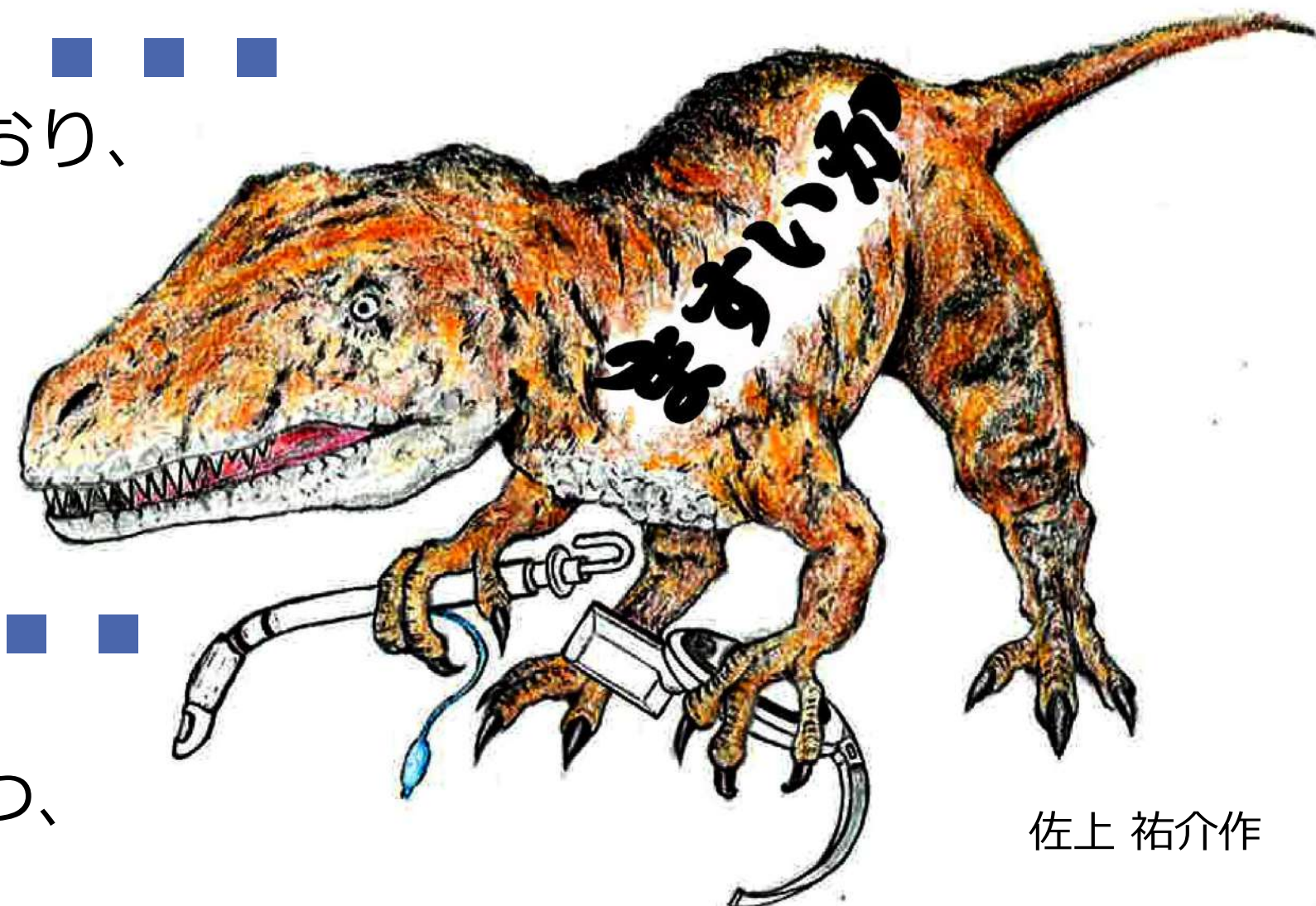
麻酔科蘇生科 / 集中治療部

2025年春 改訂

麻酔科蘇生科では直接病気を治すわけではありませんが、麻酔薬による中枢神経機能・末梢神経機能を抑制することで侵害刺激（疼痛刺激）から生体を守ると共に、中枢神経・末梢神経の抑制によって生じる全身臓器機能の抑制が引き起こす諸処の問題（循環抑制、呼吸抑制、体温調節など）に対処しています。

■ 1 急性期医療での基本的手技を集中的に学べる ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

手術部では、診療科で行う多岐にわたる手術の麻酔管理を担当しており、外科手術の概要と周術期管理を学ぶことができます。静脈ルート確保、動脈ルート確保、気管挿管、胃管挿入といった救急医療での基本的手技を実施すると共に、静脈鎮静薬、鎮痛薬及び循環作動薬の使い方などを取得することができます。



佐上 祐介作

■ 2 集中治療部研修で重症ケアの概要を知る ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

希望に応じて集中治療部で1～3カ月の研修を受け入れています。集中治療部の研修では、基礎にある生理学をより深く実践的に学びつつ、侵襲の大きな手術の術後や重篤な内科疾患の重症ケアを経験できます。各診療科間のコミュニケーションや多職種連携の重要性についても実感できるでしょう。

■ 3 学問・研究への挑戦 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

当院麻酔科蘇生科では世界初となるロボット麻酔システムを開発しており、これを活用・発展させるための頭脳を求めています。また、循環制御モニタの開発、集中治療患者における呼吸管理戦略の探索などを行っています。大学院生になって医学博士を取得する過程をしっかりサポートできますし、他大学への国内留学にも挑戦できます。

■ 4 専門医研修への道筋 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

卒後2年目の秋の専門医プログラムへの応募から始まり、卒後3年目からの専門医プログラム（麻酔科）をサポートします。サブスペシャリティとして、集中治療専門医やペインクリニック専門医への道筋を作っていきます。また呼吸療法専門医、心臓血管麻酔専門医、小児麻酔専門医などもサポートできます。



佐上 祐介作

■ 5 研修期間中に土日招集、当直なし ■ ■ ■ ■ ■

主治医制ではないため基本的に「土日の通常勤務」はありません。研修期間中の当直割り当てもなく、オンコール対応の待機日は当直医医師の補助となります。

■ 6 地域医療もしっかりサポート ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

福井県下に麻酔科を持つ医療機関と専門研修の協力体制を構築しています。地域診療を通じて麻酔科医として学ぶことは多く、また福井の医療を底支えする麻酔科の存在を地域医療の場で力強く実感できます。

頼れる上級医指導のもとで安心して研修できますので、麻酔科蘇生科についてもっと知ってみませんか？

仕事と家庭の両立も実現できます！



◆ 研修責任者、相談先 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

教授 松木悠佳 ymatsuki@u-fukui.ac.jp
医局長 次田佳代
集中治療部 川村祐子
その他、スタッフ医師や医局事務へお問い合わせください。
医局：0776-61-8391（内線2370）（9時～16時）

◆ ホームページ・リンク ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

★麻酔科蘇生科



★集中治療部



★麻酔・蘇生学

